ナイスハートバザール 2019 in とくしま

（県単開催ナイスハートバザール事業）

県単 NHB

【主催者】

特定非営利活動法人 とくしま障がい者就労支援協議会

【後援】

なし

【開催日程】

2020（令和２）年２月15日（土）～２月16日（日）　開催日２日間

【開催場所】　イオンモール徳島

【参加対象】

徳島県内の障害者就労支援事業所等

【販売形態】

（１）レジスターで会計を行う集中レジ方式

（２）全ての商品にバーコードを付け、商品売上げを管理。（参加決定後、バーコードシールを送付し、各施設で商品に添付してもらう）

（３）販売手数料

・直接販売(手数料：売上げの10%)

参加事業所が会場に係員を派遣し、商品の搬入、搬出、陳列、集客、接客を行う販売形態。直接販売は、毎日１人（６時間以上）の販売員を派遣する。

【参加施設数】

16施設（とくしま障がい者就労支援協議会会員施設が中心）

【総売上】　587,363円

【来場者数】　約1,000人

【特記事項】（イオンモール徳島から出されている参加条件）

①（食品・物品共通）ＰＬ保険（または施設で加入の賠償保険等）加入のコピーの提出

②（食品のみ）商品には食品表示シールが貼付され賞味期限が印字されていること。手書きラベ

ルや、賞味期限のみのラベラー印字は不可。
③（食品のみ）事前にⓐ商品リスト、ⓑ食品表示シール、ⓒ食品を取り扱う事前確認書をイオンに提出すること。
④（食品のみ）販売に携わるスタッフの方は検便を実施すること。

【売上商品ベスト5】

	施設名	商品名	売上額
1	大地阿南	ナッツチョコレート	39,000円
2	かがやき	鳴門金時バウムクーヘン	26,500円
3	清風	ポップコーン　キャラメル	24,700円
4	かもな	パン	24,000円
5	かがやき	シフォンケーキ	23,100円

【特徴】

徳島県では平成19年にとくしま障害者授産支援協議会（現・とくしま障がい者就労支援協議会）を立ち上げ、就労製品のブランド化と共同販売会の強化に積極的に取り組んできました。その中から共同製品（awanowaブランド）や、イメージキャラクター（あいねこ・藍ずきん）などが誕生し、ナイスハートバザール全体のイメージアップへとつなげています。

県単でのナイスハートバザールは、毎年春と秋に２回開催。キャラクターを生かしたショッピングバッグ、印刷作業を行っている施設を活用したオリジナル什器（POPも含む）等を用意するなど、会場のイメージづくりと販促活動には非常に力を入れてきました。徳島新聞への広告出稿や折込チラシなども、集客アップへの効果が絶大です。

お客様参加型のイベントにも力を入れていて、（徳島県内では焼き菓子の製造に取り組む施設が多いという事情もあり）近年はスウィーツに特化したナイスハートバザールとしてきました。人気商品をみんなの投票で選ぶ「スウィーツコンテスト」は大人気企画となり、すでに７回も開催しています。

本年度は「第７回awanowa＋スウィーツ販売コンテスト」として、雑貨・藍染等の物品も取り扱いました。今後の課題としては、「スウィーツコンテスト」に代わる新たな集客イベントを考えていくことでしょう。「全国ナイスハートバザールinとくしま」を開催する際には、ぜひとも大きなイベントを仕掛けていきたいと考えています（令和２年度に予定されていた「全国ナイスハートバザールin とくしま」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、中止となりました）。

「第20回ナイスハートバザール」のチラシ。とくしま障がい者就労支援協議会のオリジナルキャラクターの「藍ずきん」と「あいねこ」を前面に打ち出したイメージ戦略を採用しています。

ナイスハートバザールを盛り上げるためのメインイベントとして、毎年「スウィーツコンテスト」を開催しています。ナンバーワンスウィーツは、お客様の投票によって決められるため、エントリー施設の利用者や職員たちは１つでも商品を売ろうと販売に努めています。

◀会場中央にはステージと大型スクリーンを設置。これを活用して、とくしま障がい者就労支援協議会で制作したイメージビデオを投影するなどの工夫を凝らしました。

◀▼▶とくしま障がい者就労支援協議会のオリジナルキャラクターの「あいねこ」と「藍ずきん」。施設利用者たちと一般市民をつなげるお手伝いをするために張り切ってＰＲ役を担当しています。

© あいねこ・藍ずきん

◀▲バザー会場には、「あいねこ」と「藍ずきん」の着ぐるみが何度も登場。子どもたちから大人気で、握手や撮影を求められました。独自の着ぐるみだから、いつでもどこでも何度でも出演できるのが、徳島県のナイスハートバザールの最大の強みでしょう。

▼販売スタッフは、「ナイスハートバザール in とくしま」ロゴ入り共通ベストを羽織っているため、並んで立っているだけでもお客様に対するアピールが絶大です。

▲▼徳島のナイスハートバザールの中心は、なんといっても「スウィーツマルシェ」。美味しいお菓子が勢揃いするため、これを目当てにバザー会場を訪れるお客様も多いとか。人気商品を当てるイベントもあり、お客様も参加できる仕掛けが盛り込まれています。他県でも非常に参考になる取り組みでしょう。

◀スウィーツコーナーには、「とくしまナイスハートバザールのテーマカラー」の風船がディスプレイされているため、それだけでおとぎの国の雰囲気が。子どもたちや女性たちの心をわしづかみにしてくれます。

▶スウィーツコンテストの表彰式をバザー会場で実施。応募されるスウィーツのレベルは、年々アップしていて、市販の高級品と比較しても遜色ないものばかりです。